

2016年03月23日

パナソニックがボーイング社より B777X型機向けのキャビンサービスシステムを受注

パナソニック株式会社は米国子会社のパナソニック アビオニクス社 (Panasonic Avionics Corporation、以下 パナソニック アビオニクス) が、ボーイング社のB777X型機のキャビンサービスシステム (以下、CSS) の納入業者として選ばれたことを発表します。当社は現在、全てのB787ドリームライナーとB747-8インターコンチネンタルの機体にCSSを納入しております。

当社製CSSは機内アナウンス (passenger address) 機内通話 (cabin Interphone) 機内環境制御などの航空機のキャビンにおける主要な機能を提供し、拡張性が高く、ソフトウェアによる機能変更が容易な、イーサネット通信をベースとしたネットワークシステムです。加えてCSSはキャビン内の照明や機体内のネットワークを通じて機内エンターテインメントや機内通信などのシステムを制御、統合するものです。

パナソニック アビオニクスの社長兼CEOのポール・マージスは「この合意はボーイング社と当社の関係が拡大していることの表れと言えます。CSSにとって極めて重要な信頼性の向上と、搭乗員と乗客のための継続したイノベーションに対する取組みが実を結んだことを示しています」と述べています。

ボーイング社のB777X型機は航空会社より320機以上の確定注文を受けている、エンジン2機を搭載した世界最大かつ最も効率的なジェット機です。そのキャビンインテリアは、大きな窓と広いキャビン、新たな照明に加え当社のCSSで制御される電子機器により強化されたアーキテクチャを有しています。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。